

製品名: UQCRH (18Q7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19643**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100
分子量	11kDa

抗原情報

遺伝子名	UQCRH
別名	QCR6; UQCR8;
遺伝子 ID	7388.0
SwissProt ID	P07919
免疫原	ヒト UQCRH の合成ペプチド

背景

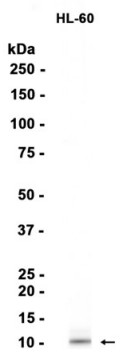
UQCRH は、ミトコンドリア呼吸鎖の一部であるユビキノール-シトクロム c 還元酵素複合体 (複合体 III またはシトクロム b-c1 複合体

)の成分です。シトクロム c1 と c の間の電子伝達に関与している可能性があります。ミトコンドリア電子伝達系の一部であり、酸化リン酸化を促進するマルチサブユニット膜貫通複合体であるユビキノール-シトクロム c 酸化還元酵素の成分です。呼吸鎖には、コハク酸脱水素酵素 (複合体 II、CII)、ユビキノール-シトクロム c 酸化還元酵素 (シトクロム b-c1 複合体、複合体 III、CIII)、およびシトクロム c 酸化酵素 (複合体 IV、CIV) の 3 つのマルチサブユニット複合体が含まれており、これらが協力して NADH およびコハク酸から生成された電子を分子状酸素に伝達し、膜貫通輸送および ATP 合成酵素を促進する電気化学的勾配を内膜上に生成します。シトクロム b-c1 複合体は、ユビキノールからシトクロム c への電子伝達を触媒し、この酸化還元反応をミトコンドリア内膜を介したプロトンの転座と結び付けます。プロトンはキノール上の水素原子として膜を通過します。Q サイクルと呼ばれるこのプロセスでは、マトリックスから 2 個のプロトンが消費され、4 個のプロトンが膜間腔に放出され、2 個の電子がシトクロム c に渡されます。

研究分野

-

画像データ



UQCRH (18Q7) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して HL-60 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。